

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)

【公表番号】特表 2019-532683 (P2019-532683A)  
【公表日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-046  
【出願番号】特願 2019-505041 (P2019-505041)  
【国際特許分類】

A 6 1 C 17/34 (2006.01)

A 4 6 B 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 17/34 A

A 4 6 B 13/02

【手続補正書】  
【提出日】令和 2 年 9 月 2 日 (2020.9.2)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

パーソナルケア装置のための駆動トレインアセンブリであって、

第 1 の端部マウントと第 2 の端部マウントとの間に懸架されたねじりばねを有し、前記ねじりばねは、前記第 1 の端部マウントに取り付けられた第 1 の端部と前記第 2 の端部マウントに取り付けられた第 2 の端部とを有し、前記ねじりばねの前記第 1 及び第 2 の端部は、交差たわみばねヒンジをそれぞれ有する、駆動トレインアセンブリ。

【請求項 2】

前記第 1 の端部マウントが、モータと係合するように構成される、請求項 1 記載の駆動トレインアセンブリ。

【請求項 3】

前記第 2 の端部マウントが、アタッチメントの接続のための駆動シャフトと係合するように構成される、請求項 1 記載の駆動トレインアセンブリ。

【請求項 4】

前記 X 字型交差たわみばねヒンジのそれぞれが X 字型であり、前記ねじりばねから外側へ延在している 2 つのばねヒンジリーフレットを有する、請求項 1 記載の駆動トレインアセンブリ。

【請求項 5】

前記ねじりばねが、長手方向に沿って V 字型である、請求項 1 記載の駆動トレインアセンブリ。

【請求項 6】

前記第 1 の端部マウントにおける第 1 の支持構造であって、前記ねじりばねの前記第 1 の端部が前記第 1 の支持構造に取り付けられる前記第 1 の支持構造と、

前記第 2 の端部マウントにおける第 2 の支持構造であって、前記ねじりばねの前記第 2 の端部が前記第 2 の支持構造に取り付けられる前記第 2 の支持構造と、  
を更に有する、請求項 1 記載の駆動トレインアセンブリ。

【請求項 7】

前記ねじりばねの前記第 1 の端部が、前記第 1 の支持構造に溶接されており、前記ねじ

りばねの前記第 2 の端部が、前記第 2 の支持構造に溶接されている、請求項 6 記載の駆動トレインアセンブリ。

【請求項 8】

パーソナルケア装置のための駆動トレインアセンブリであって、  
モータと連絡するように構成された第 1 の端部マウントと、  
アタッチメントの接続のための駆動シャフトと連絡するように構成された第 2 の端部マウントと、

前記第 1 の端部マウントと前記第 2 の端部マウントとの間に懸架されるとともに、前記第 1 の端部マウントに取り付けられた第 1 の端部と前記第 2 の端部マウントに取り付けられた第 2 の端部とを有する、ねじりばねと、

前記第 1 の端部マウントにおける第 1 の支持構造であって、前記ねじりばねの前記第 1 の端部が前記第 1 の支持構造に取り付けられる前記第 1 の支持構造と、

前記第 2 の端部マウントにおける第 2 の支持構造であって、前記ねじりばねの前記第 2 の端部が前記第 2 の支持構造に取り付けられる前記第 2 の支持構造と、

前記ねじりばねの前記第 1 の端部上の第 1 の交差たわみばねヒンジと、

前記ねじりばねの前記第 2 の端部上の第 2 の交差たわみばねヒンジと、

を有し、

前記第 1 の交差たわみばねヒンジ及び前記第 2 の交差たわみばねヒンジの各々が、前記各ねじりばねから外側へ延在している 2 つのばねヒンジリーフレットを有する、駆動トレインアセンブリ。

【請求項 9】

前記ねじりばねが、V 字型である、請求項 8 記載の駆動トレインアセンブリ。

【請求項 10】

パーソナルケア装置であって、

ハウジングと、

第 1 の端部マウントと第 2 の端部マウントとの間に懸架されるねじりばねを有する駆動トレインアセンブリと、

を有し、

前記ねじりばねは、前記第 1 の端部マウントに取り付けられた第 1 の端部と前記第 2 の端部マウントに取り付けられた第 2 の端部とを有し、

前記ねじりばねの前記第 1 及び第 2 の端部は、交差たわみばねヒンジをそれぞれ有する、パーソナルケア装置。

【請求項 11】

前記第 1 の端部マウントが、モータと係合するように構成される、請求項 10 記載のパーソナルケア装置。

【請求項 12】

前記第 2 の端部マウントが、アタッチメントの接続のための駆動シャフトと係合するように構成される、請求項 10 記載のパーソナルケア装置。

【請求項 13】

前記交差たわみばねヒンジの各々が、前記ねじりばねから外側へ延在している 2 つのばねリーフレットを有する、請求項 10 記載のパーソナルケア装置。

【請求項 14】

前記第 1 の端部マウントにおける第 1 の支持構造であって、前記ねじりばねの前記第 1 の端部が前記第 1 の支持構造に取り付けられる前記第 1 の支持構造と、

前記第 2 の端部マウントにおける第 2 の支持構造であって、前記ねじりばねの前記第 2 の端部が前記第 2 の支持構造に取り付けられる前記第 2 の支持構造と、

を更に有する、請求項 10 記載のパーソナルケア装置。

【請求項 15】

前記ねじりばねが、V 字型である、請求項 10 記載のパーソナルケア装置。